

(令和6年7月31日発表)

「市長報告 本市水難救助隊員が 消防救助技術大会の全国大会に出場」

◆アピールポイント	危険度も困難性も高い水難救助技術を競い合う消防救助技術大会に、本市の水難救助隊員1名が、わずか1年余りのキャリアで県大会、関東大会を突破し、全国大会へ出場することになりました。 【市長の出席 有】
◆日時・期間	令和6年8月9日（金）8時30分から8時45分まで
◆場所	静岡市役所新館8階市長応接室
◆内容など	【次第】 1 全国大会出場報告及び訓練種目説明 消防局長 <small>いけ だよしあき</small> 池田悦章、安全対策課長 <small>つほいよしまさ</small> 坪井良正から出場報告及び種目の説明 2 選手挨拶 出場選手から大会への意気込み 3 市長からの激励 4 記念撮影 【全国消防救助技術大会】 救助技術の高度化に必要な基本的要素を錬磨することを通じて、消防救助活動に不可欠な体力・精神力・技術力を養い、住民の皆様に消防の技術の高さ、力強さをアピールすることが主な目的です。 開 催 日：令和6年8月23日（金） 開催場所：千葉県国際総合水泳場（千葉県習志野市）ほか
◆対象・人数	出場隊員1名（詳細にあっては別紙をご参照下さい。）
◆備考	市内にて災害が発生した場合、災害対応を優先させていただき、市長報告を中止又は中断する可能性があります。

別紙資料 有

【問合せ】

静岡市駿河区南八幡町10番30号
静岡市消防局警防部安全対策課
担当 石川、入澤
TEL 054-280-0204

全国消防救助技術大会 出場隊員及び種目の紹介

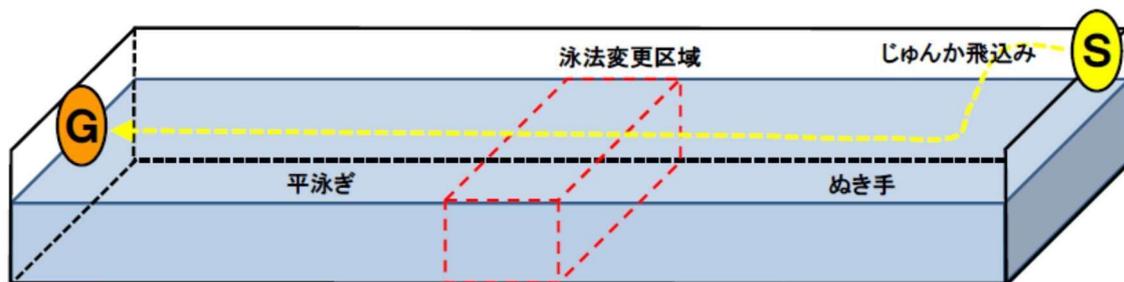
◎ 出場隊員

日本平消防署 消防士 望月 皓太(もちづき こうた)

◎ 出場種目

基本泳法

「じゅんか飛び込み※1」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手※2」と「平泳ぎ」でそれぞれ25mずつ計50m泳ぐ、水難救助の基本的な泳法技術を競い合う訓練です。



※1 飛び込む際に両足を前後に開き、入水すると同時に両足を強く閉じ
両手で水を下に押し、頭部が水中に没しないようにする飛び込み。

※2 顔を水面に挙げた状態のままクロール泳法

◎参考記録

- ・県大会所要タイム 31.4秒 (優勝)
- ・関東大会所要タイム 32.0秒(優勝タイム 31.0秒)
- ・令和5年度全国大会優勝タイム 30.4秒